学校番号	1016

令和8年度 情報科

教科	情報	科目	情報デザイン	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	情報デザイン						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

情報の価値を高めるための、情報コンテンツのデザインの方法を学ぶとともに、どのようなデザインが受け手に求められ、受け手に満足されるのかを考えましょう。
受け手に伝わりやすいデザインや、HTML を用いたページ作成を軸に実習を行います。

2 学習の到達目標

【知識及び技能】
コンピュータによるデザインに関する基礎的な知識と技術を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
問題意識,美的判断力,情報活用能力,企画・計画力を身につけ,上質なデザインを創造し,応用する能力を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】
積極的な意見と、よりよい作品を作ろうとする態度を身につける。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・情報の各分野に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、現代社会における情報及び情報産業の意義や役割を理解している。 ・情報の各分野に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、情報の各分野に関する諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	・情報の各分野に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、情報産業に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている	情報の各分野に関する諸課題について関心をもち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
I	デザイン・情報・造形の基礎	デザインって何だろう	a: デザインをするために大切な心構えについて理解している。デザインを学ぶにあたって大切な心構えを挙げることができる。 b: 身近な問題を見つけ出し、解決するための工夫を発表し、他のメンバーの工夫にも耳を傾け、解決の方向性を見極める能力を身に付けている。 c: 日常生活で目にする「デザインされたもの」に興味をもって観察し、「よい」デザインを見極めようと主体的に取組んでいる。	授業 プリント 課題作品	授業 プリント 課題作品	振り返り 相互評価 授業観察
		情報ってなんだろう	a: コミュニケーションのモデルや人間のコミュニケーションがシンボルの共有を背景に成立するということについて理解している。人間と情報・コミュニケーションのかかわりの歴史のおおまかな流れを踏まえて、情報のデザインにどのような姿勢で取組むべきか考えることができる。 b: 文字や紙、印刷技術などコミュニケーションにまつわる人類史上の大きな発明が社会にどのように影響してきたか、20 世紀の世界大戦など歴史的状況が人間のコミュニケーションにどのように影響してきたか思考することができる。 c: 人間と情報・コミュニケーションのかかわりの進展が人間社会の文明・文化の進展とどうかかわってきたか、人間のコミュニケーションがシンボルの共有を背景に成立するということに関心をもって取組んでいる。	授業 プリント ワークシート	授業 プリント ワークシート	振り返り 授業観察

2	デザインと表現	デザインの造形要素	a: 光と色の関係、光の三原色、色料の三原色、色の三属性、形態や色彩にかかわる知覚心理など造形要素にかかわる基本的な知識を身に付けている。造形要素に着目して造形の心理的影響を分析することができる。 b: 造形要素に着目して造形物のありようを分析し、見る者に与える心理的効果が異なる理由を考察し表現することができる。 c: 造形の基本要素に着目して身の周りの造形物を分析的に観察することに関心をもって主体的に取組める。	授業 プリント 課題作品	授業 プリント 課題作品	課題作品 振り返り
		造形要素の構成	a: 調和がとれつつ魅力的な造形構成の背後にあるルールについて理解する。グラフィックソフトで造形構成を展開する基本的な操作をすることができる。 b: 造形の展開手法を工夫し、さまざまに組み合わせて造形の面白さを発見できる。 c: 構成の基本操作による造形展開に興味を持って取組める。さまざまな造形物がどのようにして調和を取っているか関心をもって観察できる。	授業 プリント ワークシート 課題作品	授業 プリント ワークシート 課題作品	振り返り 授業観察 相互評価

3	デザインの実際	観察から表現へ	a: さまざまな表現技法、インフォグラフィックスのスタイルを知り理解する。観察・描写し、対象の特徴などを適切に表現できる。 b: 観察・描写を通して対象の特徴などを見つけ出すことができる。 データの内容に応じて適切なインフォグラフィックスのスタイルを選択できる。 c: 興味を持って対象を観察し、描写・記録に取り組める。 さまざまな表現技法に興味を持って探ることができる。 さまざまなインフォグラフィックスの表現スタイルがあることに関心を持てる。	授業 プリント 課題作品	授業 プリント 課題作品	課題作品 振り返り
		身近な生活をデザインする	a: タイポグラフィ、サイン計画などについての知識と理解。スキャナなどの画像入力装置やデザインソフトなどを使ってロゴタイプ、シンボルマーク、ピクトグラムなどを制作できる。 b: 目的を把握し、さまざまなアイデアから適切に判断し、提案する。 c: 課題の趣旨を理解し、積極的に取り組もうとする。	授業 プリント 課題作品	授業 プリント 課題作品	課題作品 振り返り 相互評価 授業観察

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度